

2017年度卒業時満足度調査 結果報告

- ・実施日： 2018年1月17(水) II限 ※基礎ゼミIV最終回
- ・対象： 商学科2年生および国際コミュニケーション学科2年生
- ・対象者数： 367名(商学科177名/国際コミュニケーション学科190名)
- ・回答者数： 269名(商学科126名/国際コミュニケーション学科143名)
- ・回答率： 73.30%(商学科71.19%/国際コミュニケーション学科75.26%)
- ・結果： 以下参照

Table 1 2017年度卒業時満足度調査 学科別平均

学科比較	設問	2017年度				2016年度				年度差		
		全	商	国	差	全	商	国	差	全	商	国
	1 社会人として役立つ知識を身につけることができた	4.0	4.0	4.0	0.0	4.0	3.9	4.0	-0.1	0.1	0.2	0.0
商	2 資格取得に役立つ勉強ができた	3.7	4.0	3.6	0.4	3.6	3.7	3.5	0.2	0.1	0.2	0.1
国	3 インターンシップ制度があつてよかった	4.0	4.1	3.8	0.3	3.9	4.0	3.8	0.2	0.0	0.1	0.0
国	4 海外プログラムがあつてよかった	3.1	2.9	3.3	-0.4	3.1	2.9	3.2	-0.4	0.0	0.0	0.0
	5 授業が充実していた	3.8	3.8	3.8	0.0	3.6	3.5	3.7	-0.2	0.2	0.3	0.1
	6 先生方が授業の取り組みに熱心であった	4.0	4.0	4.0	0.0	3.8	3.7	3.9	-0.1	0.2	0.3	0.1
	7 大学の設備が充実していた	4.0	3.9	4.0	0.0	3.9	3.8	4.0	-0.1	0.1	0.1	0.0
	8 基礎ゼミがあつてよかった	3.9	3.9	3.9	0.0	3.7	3.7	3.7	0.0	0.2	0.2	0.1
	9 クラブ・サークル活動を楽しむことができた	2.9	2.9	2.9	0.1	2.9	2.9	2.9	0.0	0.0	0.0	-0.1
	10 学校行事が楽しかった	3.7	3.6	3.8	-0.1	3.5	3.4	3.6	-0.2	0.2	0.2	0.2
商	11 大学が親身な就職指導をしてくれた	4.0	4.1	3.9	0.3	3.8	3.8	3.9	-0.1	0.2	0.4	0.0
	12 大学が学生たちの活動を支援してくれた	3.8	3.9	3.8	0.1	3.7	3.6	3.8	-0.2	0.1	0.3	0.0
	13 キャンパスが快適であった	3.9	3.9	4.0	0.0	3.8	3.7	3.9	-0.2	0.1	0.2	0.0
	14 スクールバスがあつてよかった	4.3	4.4	4.2	0.2	4.2	4.1	4.2	-0.1	0.2	0.3	0.0
国	15 たくさんの友人ができた	4.1	3.9	4.2	-0.4	4.0	3.9	4.1	-0.3	0.1	0.0	0.1
	16 相談相手になってくれる先生がいた	3.5	3.5	3.6	0.0	3.6	3.4	3.7	-0.3	0.0	0.1	-0.1
	17 コースの中身が充実していた	3.7	3.7	3.7	0.0	3.6	3.5	3.8	-0.3	0.1	0.3	0.0
	18 大学の雰囲気が自分に合っていた	3.8	3.7	3.9	-0.2	3.7	3.5	3.8	-0.3	0.1	0.2	0.1
	19 学生生活に満足した	4.0	3.9	4.1	-0.1	3.8	3.8	3.9	-0.2	0.1	0.2	0.1
	20 受験生の知り合いがいたら、埼玉女子短期大学に入学をすすめた	3.7	3.6	3.7	-0.1	3.6	3.4	3.7	-0.3	0.1	0.2	0.0
	平均	3.8	3.8	3.8	0.0	3.7	3.6	3.8	-0.1	0.1	0.2	0.0

凡例

	高評価項目 (全体平均3.8以上)
商	商学科>国際コミュニケーション学科
国	商学科<国際コミュニケーション学科

2017年度卒業予定者回答傾向概要

- ① 学生生活に満足した学生（やや満足・大変満足）が全体の7割（昨年度6割強）
- ② インターンシップ、就職指導など、進路・キャリア関連の取り組みに高評価（昨年度と同様）
- ③ 授業、基礎ゼミ、教員の取り組みにも高評価（昨年度より上昇）
- ④ 設備の充実、キャンパスの快適さに高評価（昨年度と同様）
- ⑤ クラブ・サークルの存在感低迷（昨年度と同様）

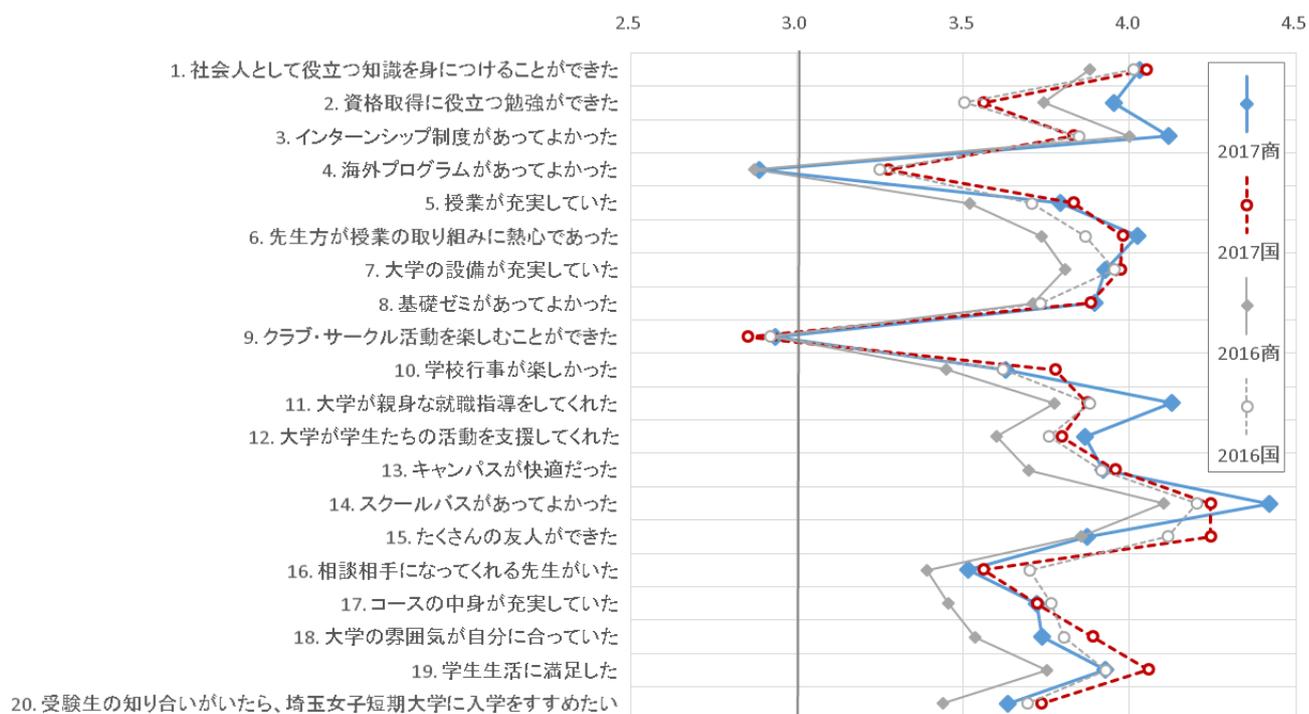


Figure 1 2017年度および2016年度の結果

高評価（3.8ポイント以上）および低評価（3.2ポイント以下）項目の分析

全体の平均点が3.8ポイントを超えた項目は、20項目中13項目に上り（詳細はTable 1参照）、昨年度以上に幅広い側面について高評価が得られた。昨年度に続いて、インターンシップや就職支援等、社会人準備に関わる要素や施設面で高い満足が見られた他、「5. 授業が充実していた」「6. 先生方が授業の取り組みに熱心であった」「8. 基礎ゼミがあつてよかった」といった授業関連の内容についても高い評価が得られた。

一方、3.2以下の低評価項目は、昨年度と同様に「4. 海外プログラムがあつてよかった」「9. クラブ・サークル活動があつてよかった」の2項目であった。いずれも実際に活動に関わる学生が少数に留まることの結果と考えられる（2017年度学修時間・行動調査によれば、2年次夏の段階で海外プログラムを経験していない学生が2年生全員の約9割、サークル活動を全くしていない学生が全体の約8割）。

以上